

世界に飛躍する特産品

香港市場動向 レポート

社団法人鹿児島県特産品協会
事業部流通企画課

香港のバイヤーに一番売れている日本食品を尋ねると「日本産乳児用粉ミルク」らしい。香港でも中国産乳児ミルクのメラミン混入が大きな問題となり、中国大陸から

安心、安全で
健康な商品を...

世界同時金融危機で変化する消費者動向
世界貿易・金融センターとして拠点的作用を果たしている香港経済も世界同時金融危機の煽りを受けて、消費者の動向も大きく変化している。外食やショッピングが楽しみの一つといわれている香港人も、食に関して言えば、「高級レストランから低価格のレストランへ、また、自炊も増えており、小売店等では惣菜や食材などの売上がのびている」(シティーズーパー香港・宮越バイヤー談)ようだ。

香港へ買いに来る中国人も多いらしい。香港の食料品は、大半が輸入に頼っている。その約3割が中国からの輸入であり、中国産への不信感から、日本食品に対する期待は一層大きくなっている。

ターゲットを絞り
市場展開

このような中、県、県輸出食品振興連絡協議会、



大人気の蒸しさつまいも販売

今回の事業を通じて、本県産品に対する関心の

連携強化の必要性

「SANTRIO」では、一般消費者や業務店を対象とし、(有)霧島高原ロイヤルパークが黒豚の試食会を開催した。



レストランでの黒豚試食会

高さを改めて痛感するとともに、香港取引先との連携強化、物流システムの構築、生産履歴の情報提供、継続的プロモーション等の必要性を感じた。県、団体や企業と連携し、これらの課題を研究・検討し、継続的な市場展開を行っていきたい。

工芸品の市場展開

東武百貨店池袋店での「南国の美 本場大島紬展」を振り返って

「織元自らが行動する 新たな取り組みを期待」

去る、2月12日(木)～17日(火)6日間、東武百貨店池袋店9階呉服売場きものサロン特設会場で、本場大島紬織物協同組合が主催し、「南国の美 本場大島紬展」を開催した。会期中は、本場大島紬約300点を一堂に集めた展示販売会や機織の製作実演の披露、大島紬大使に任命された俳優・榎木孝明氏と細クインによる「紬の魅力再発見」と題したトークショーを実施し、大島紬の魅力を広く首都圏の方々に紹介した。同店呉服部の森マーチンダイザーへ今回の販売会の総評と今後の取り組みについてのアドバイスをいただいた。

「今回の大島紬展は、鹿児島島へ訪問し組合とも打合せを行い、織元別に商品を表示し、展開することで取り組んだ。結果と

して、お客様には、泥、藍色などの商品別に展示したほうがわかりやすかったのかもしれない。作り手が商品の特徴や



榎木孝明氏を迎えて大島紬の魅力を探索

こだわりなどを直接お客様に伝えることで、作り手とお客様との情報交流

ができ、今後の商品開発のヒントにつながる人が多い。大島紬の魅力を伝えるには、機織、泥染めや図案などの製作工程を幅広く紹介することで、お客様へより明確に伝統ある大島紬の技術の良さを伝えることができるのではないだろうか。産地に行かないと見ることができないため、紬の繊細な技術は知らないことが多い。お客様から「大島紬は値段が高い」とよく聞くが、「高さ」を納得して購入してもらおう展示紹介の工夫を一緒に研究していきたい。

また、商品開発や流通形態などに工夫を凝らし、新しい顧客を獲得するために、新たな取り組みが必要ではないかと思う。現在、当店売場には、「着物十帯(お仕立付)」で十万円(税別)均一の「十萬屋」を展開している。昨今の節約消費に対応するため、価格を抑えた商品



機織実演をとり入れた大島紬の紹介

開発をし、着物、帯とも約百種類ずつの組み合わせで展開しているため、お客様の反応は良い。大島紬で実施することが可能であれば、新たな顧客獲得の糸口になるのではないだろうか。今回のような販売会は、一回で終わらせるのではなく、継続していくことで、お客様へも認知され定着する。組合と織元自らが積極的に行動し、新たな取り組みをされることを今後も期待したい。」